

思考と工夫で宇宙に夢中！
赤平の空に広がる宇宙

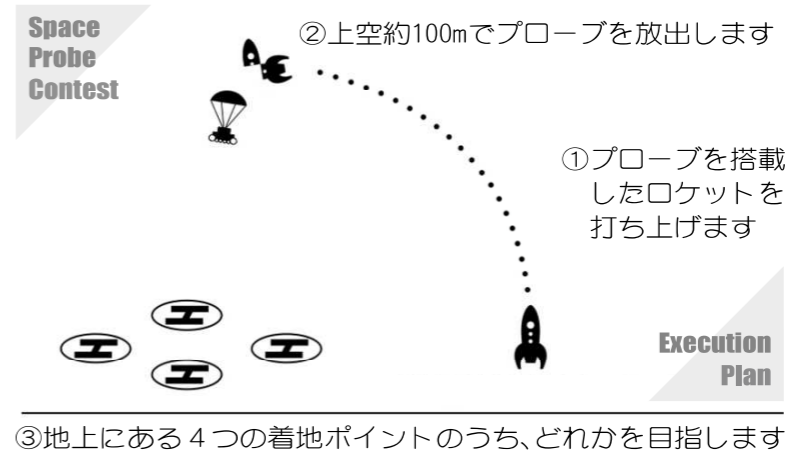
宇宙(ソラ)を舞台に競い合う宇宙探査機コンテスト！ 「スペースプローブコンテスト」

そもそもどんな「コンテスト」なの？

スペースプローブコンテストとは、年齢問わず様々なチームが自作したプローブ(探査機)をロケットにより上空約100mで放出し、「どれくらい目的地に近づけたか」を競うコンテストです。
また、着地するまでの間にチームで掲げたミッションに対してどこまで達成できたかについて、得られたデータをもとに分析し発表します。競技結果だけではなく、各チームの工夫やこだわり、プローブの制御、プレゼン発表など見どころ満載の目が離せないコンテストになっています！
また、今年はオンライン開催だけでなく、現地開催予定で準備を進めており、見学無料となっておりますので、ぜひ赤平市民の皆様も植松電機へお越しください！



開催日 9月17日(土)10時~12時30分
場所 株式会社植松電機
※ 誰でも無料で見学することができます！



昨年優勝チーム Cosmo Craft



はるばる東京からのご参加！今年で5回目の出場となる社会人チームです。二年連続で最優秀賞を受賞しており、今年の注目度も非常に高いです。

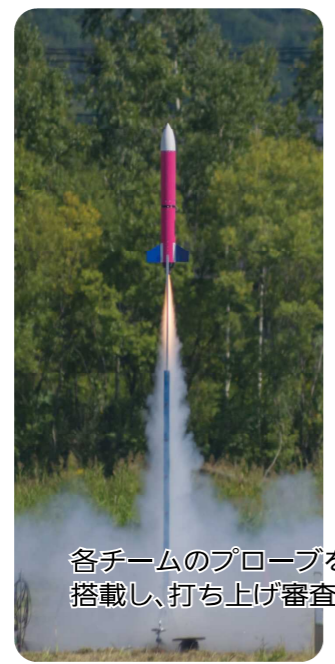
昨年の優勝チームは、Cosmo Craft(コスモクラフト)でした。コロナの影響で対面での打ち合わせが難しいなか、オンラインを駆使して仕上げました。機体の特徴としては、空中でパラシュートにより姿勢を安定させ、飛ぶべき方向を検知し、水ロケットを噴射することで目的地に近づけました。こうした空中で推進力を使って目的地を目指す方法は今までなかったため、その発想に審査員一同ワクワクさせられました。
また、オンライン配信だったため、実際のプローブの操作は主催者側が行ない、遠隔でメンバーからの指示と手順書を見て行なったのですが、その手順書のわかりやすさや、操作する人への思いやりも高い評価につながりました。
この年は惜しくもパラシュートの開きが悪く、思った通りに飛ばなかったのですが、失敗以上に、当日に至るまでの実験や準備・作業の丁寧さが評価され最優秀賞となりました。

各チームによる自作プローブのプレゼン発表



H 見どころ1

自作したプローブの工夫点やこだわった点を発表します。上空約100mからターゲットに近づくためにどのような方法を考えてか注目です！



各チームのプローブをロケットへ搭載し、打ち上げ審査を開始

H 見どころ2

高度約100mから放出したプローブが、どれくらい目的地に近づくことができたかを審査します。紹介プレゼンでの内容がどれくらい機能しているか、無事に制御できているか見どころです！



赤平から宇宙へⅡ

打ち上げ審査後の機体から得られた情報をもとに、成果発表



H 見どころ3

打ち上げ審査で得られたデータを分析し、その結果を発表します。打ち上げ審査をチェックし、どのようなことが起こったのか、なにが原因だったか予想しておく面白いです！ ※後日YouTube(YouTube)配信を行ないます！

ドキドキの審査結果発表！



H 見どころ4

宇宙開発の最先端で活躍している審査員の方々からコメントをいただき、出場者のプローブの総合審査を発表します。どこのチームが優勝するのか注目です！

詳細・過去の大会の様子はコチラから



今年の参加チーム

- ☆ 室蘭工業大学「SARD(サード)」(北海道室蘭市)
- ☆ 社会人チーム「Cosmo Craft(コスモクラフト)」(東京都)
- ☆ 立命館慶祥高等学校「Fantone(ファントム)」(北海道江別市)
- ☆ 「チーム岩井家」(北海道札幌市)
- ☆ はこだて未来大学「Rosat(ファンサット)」(北海道函館市)※オンライン参加
- ☆ ものつくり大学「月華(つきしずく)」(埼玉県)
- ☆ 社会人チーム「リーマンサット」(東京都)
- ☆ 「北海道札幌琴似工業高等学校」(北海道札幌市)
- ☆ 北海道情報大学「E宇宙研」(北海道江別市)
- ☆ 北見工業大学「Noctis」(ノチウス) (北海道北見市)